

NRTI耐性関連変異にはいくつかの パターンがある

変異	選択	コメント
TAM (Loci 41、67、70、210、215、219)	ZDV、d4T	<ul style="list-style-type: none"> 2つの異なるクラスター：M41L、L210W、T215YとD67N、K70R、T215F、K219Q/E/N
Q151M+ (A62V、V75I、F77L、F116Y)	ddI+d4TまたはddI+ZDV	<ul style="list-style-type: none"> TDF、3TCはある程度の活性を保持
69挿入 T69S+2つのアミノ酸（セリン、アラニンまたはグリシン）の挿入	NRTI	<ul style="list-style-type: none"> 通常、TAMとともに認められる
K65R	TDF、ABC、ddI	<ul style="list-style-type: none"> 以下を除きほとんどのNRTIに対する感受性の低下を付与： <i>In vitro</i>でZDVに対する感受性を高める
L74V	ABC単剤療法、ddI単剤療法	<ul style="list-style-type: none"> ZDVに対するTAM関連耐性を低下させる
M184V/I	3TC、FTC	<ul style="list-style-type: none"> 最初にM184Iが発現し、高い適応度に関連するM184Vに置き換わる ZDV、d4T、TDFに対するTAM関連耐性の発現を遅延、または防ぐ可能性がある